

2. 連立方程式の解き方

◆ 加減法 ... 2つの式を、足すか引くかして、文字を消す方法

(例)
$$\begin{cases} x + y = 4 \\ x - y = 2 \end{cases}$$

2つの式を足し算して $(+y)$ と $(-y)$ を消却したら、 (x) の値が求められる

↓

$$\begin{array}{r} x + y = 4 \\ + \quad x - y = 2 \\ \hline 2x \quad = 6 \\ x = 3 \end{array}$$

$x = 3$ とわかったので、2つの式のうち簡単そうなのは (x) の値を代入して、 (y) の値を求める。

↓

$x = 3$

→ $x + y = 4$ (上の式を選んだ)

$$3 + y = 4$$

$$y = 4 - 3$$

$$y = 1$$

$y = 1$ とわかった。

本当に合ってるか、 x と y を両方代入してその解で成り立っているのか、確認してみる。

$x = 3$

$y = 1$

$$x + y = 4 \quad (\text{上の式を選んだ})$$

$$3 + 1 = 4 \quad \dots \text{ok. 合ってる.}$$

こたえ、 $x = 3$, $y = 1$.